

令和2年度決算

単位：円

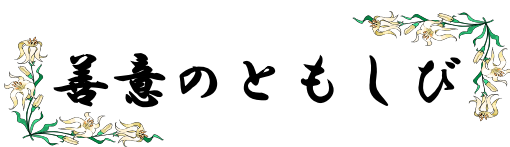
会費	1,630,500	3.0%	人件費	37,541,401	68.4%
寄附金	2,162,623	4.0%	事業費	2,768,418	5.0%
補助金	13,333,547	24.9%	事務費	6,986,489	12.7%
受託事業	20,727,432	38.7%	助成金	1,491,240	2.7%
事業収入	348,200	0.6%	負担金	81,000	0.1%
負担金収入	1,296,000	2.4%	固定資産取得支出	1,019,020	1.9%
受取利息配当金	2,988	0.0%	積立預金積立	3,672,571	6.7%
その他の収入	1,869,533	3.5%	その他の支出	1,289,940	2.4%
積立預金取崩	7,064,000	13.2%	支出合計②	54,850,079	100.0%
その他の活動による収入	5,178,060	9.7%	前期末支払資金残高 34,543,833円③		
収入合計①	53,612,883	100.0%	当期末支払資金残高 33,306,637円①－②＋③		

資産の部		負債の部	
流動資産	41,619,657	流動負債	9,692,020
		固定負債	19,279,450
		負債の部合計	28,971,470
基本財産	1,000,000	純資産の部	
		基本金	1,000,000
その他の 固定資産	39,257,280	その他の積立金	22,264,121
		次期繰越活動収支差額	29,641,346
		純資産の部合計	52,905,467
資産の部合計	81,876,937	負債及び純資産の部合計	81,876,937

令和2年度事業報告

第5次甲佐町地域福祉活動計画に示す4つの重点事項(①地域支え合いの大切さの啓発②子ども達と福祉のつながり③防災・防犯をテーマにした地域の交流④近隣での生活課題への気づき・目配りと生活支援)を柱に、令和2年度事業計画を定め、地域福祉の推進に努めましたが、昨年度末からのコロナ禍の状況にあり、個別の主要事業等がほとんど実施できない一年でした。そのような中、コロナ禍の影響による収入の減少などで、生活苦に陥った方への支援として、生活福祉資金特例貸付(緊急小口・総合支援)事業、熊本県生活困窮者に対する緊急・一時支援事業を実施しました。今後もコロナ禍等によるこのような社会情勢が続くことが予測され、生活困窮者へ既存制度への繋ぎのための支援として、緊急的・弾力的な支援を行うために「こうさライフレスキュー事業実施要綱」を定めました。

また、平成28年4月の熊本地震、6月の記録的豪雨により被災された方への日常生活支援事業として、甲佐町地域支え合いセンター事業を受託し平成28年10月から活動してきました。ほとんどの方が再建されたことに伴い令和3年3月31日をもって閉所し、今後の地域福祉の一指標として活用できるよう、これまでの4年半の活動記録誌を作成しました。



次の方々から甲佐町の社会福祉のためにと、ご寄附をいただきました。皆様の温かい善意に感謝申しあげます。(敬称は省略させていただきます)

期間：令和3年4月1日～令和3年6月30日

ご芳名	行政区	故人
石坂 豊美	小 鹿	石坂 哲朗
中原 光博	東寒野	中原 智子
稲葉 早苗	東寒野	稲葉 タエ子
永野 智寛	東寒野	永野 信夫
西坂 邦昭	西寒野	西坂 シゲ子
宮本 建幸	西寒野	宮本 剛
佐野 京子	上豊内	佐野 治吉
甲 斐 等	上豊内	甲斐 昭子
井芹 理恵	下豊内	井芹 初三
堀 洋 一	岩下二区	堀 伸 子
白石 紀美子	岩下二区	白石 隆雄
蒲地 厚子	岩下二区	蒲地 達也
溪村 澄子	緑 町	溪村 儀一

ご芳名	行政区	故人
赤星 光弘	中横田	赤星 志満子
浅木 真也	浅 井	浅木 シマコ
溪村 誠子	上早川一区	溪村 益男
井藤 早苗	上早川二区	井藤 晴雄
久佐賀 忠	南三箇	久佐賀 テル子
古 閑 潔	中 山	古 閑 千ヨミ
平川 ふみ子	津志田	平川 勝巳
神田 幸親	津志田	神田 真由美
池上 克良	津志田	池上 悌子
中村 文子	津志田	中村 奉文
山田 照子	和田内	山田 隆昭
小田 弥生	北 原	小田 貞子
岡本 日出子	古 閑	岡本 耕右



社協だよりは赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています